

OBR選手各位

第136回大会 Bリーグ

場所:浅香中央グランド

13:30~15:30

第一回戦

標題について下記の通り、お知らせします。

記

去る、平成23年9月11日(日)対大阪ガンプとの試合は次の通りです。

	1	2	3	4	5	計
OBR	0	0	0	2	0	2
大阪ガンプ	0	0	0	0	3×	3

打	守		打席	打数	得点	安打	打点	二塁打	三塁打	本塁打	三振	四死球	犠打	盗塁	失策
1	8	西	3	2	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0
2	9	レイノルド	3	1	1	1	0	0	0	0	0	2	0	2	0
3	5	上岡	3	2	1	1	0	0	0	0	2	0	0	1	0
4	3	加賀	2	2	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1
5	7	高垣	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6	6	水本廣	2	2	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0
7	2	杉田一	2	2	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0
8	1	水本貴	2	1	0	0	0	0	0	0	1	1	0	1	0
9	6	岩本	2	1	0	0	0	0	0	0	1	1	0	2	0
		野崎													
		島村													
		計	21	15	2	2	0	0	0	0	7	5	0	7	1

投手	回数	安打	三振	四死球	暴投	自責点
水本貴	4 2/3	4	2	1	0	3

ああ、まさかの逆転サヨナラ負け・・・！

OBR、監督不在の中、臨んだ第1回戦。初回から早速、相手投手の不安定な立ち上がりから2連続フォアボールを選び無死1,2塁。しかも、打順はクリーンアップのチャンス。しかし、ダブルスチール失敗から3番、4番と凡退し、相手投手を助けてしまうような拙攻でチャンスをつぶしてしまいます。

その後は緊迫した投手戦。先発水本貴選手はピンチを迎えるものの、ショート水本廣選手、レフト高垣選手のファインプレーなどもあり、相手打線は無得点に封じます。

迎えた4回表。相手のミスとヒット、盗塁も成功し、無死2,3塁のチャンス。ここで相手バッテリーの守備の乱れから、ようやく2点を先制します。

その後も水本貴選手は相手打線を抑え、いよいよ最終回。相手チームの連続安打と守備の乱れから、なんとここで無死満塁。しかも、打順はクリーンアップの大ピンチ。内野守備はバックホーム態勢をとります。

3番はピッチャーゴロから本塁ホースアウト。4番はセカンドゴロ。本塁には投げられず、1塁アウト。その間に1点献上。

2対1。2死2,3塁で5番を迎えます。追い込んでからもしつこく粘る打者。カウント2-2から投じた最後の1球は外角へのカーブ。打者がかろうじて当てた打球は不運にもライト線上へポトリ。この1打で2人のランナーが生還。

※選手の皆様へ、毎試合前日には、監督、コーチ陣が集まって作戦会議を行っております。
当日参加される選手は、故障等で体調が思わしくない場合は
前々日までには連絡くださるようお願いいたします。

OBR野球部監督 杉田善久